



総務・文教・民生委員会  
県外行政視察  
～島根県隠岐郡海士町～

令和6年10月29日～11月1日

# 目次

1. 視察概要
2. 視察行程表
3. 視察を終えて・・・  
視察先で感じたこと・意見・課題など

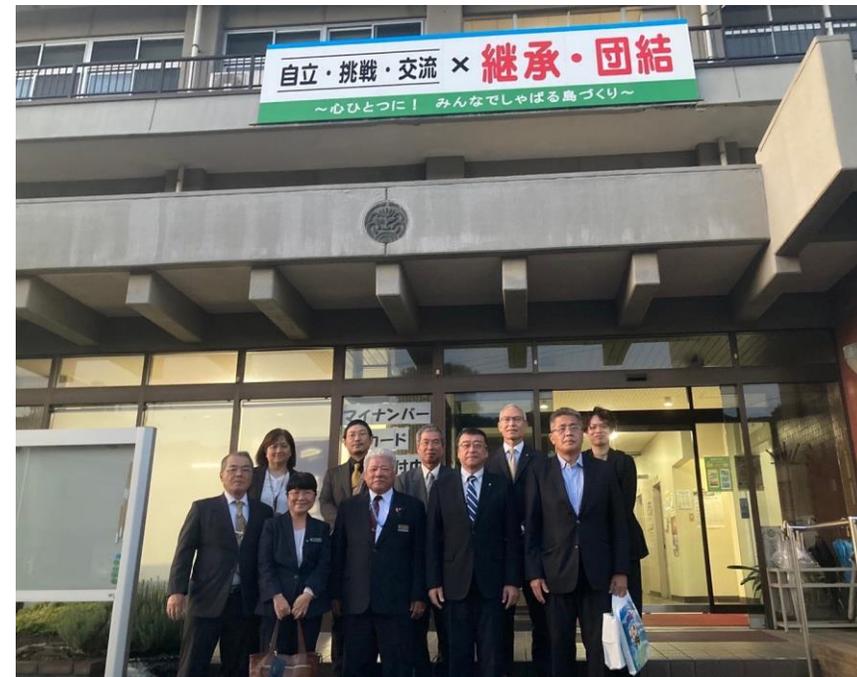
赤嶺	秀徳	委員長
新垣	幸子	副委員長
富	永 肇	委員
真栄平	建正	委員
吉永	将志	委員
保久村	登	委員



# 視察概要

視 察 名	総務文教民生委員会 県外行政視察
視 察 期 日	令和6年10月29日～11月1日
視 察 先	島根県隠岐郡海士町
視 察 内 容	① 移住定住について ② 高校魅力化について ③ その他

総務・文教・民生委員会  
赤嶺 秀徳 委員長  
新垣 幸子 副委員長  
富 永 肇 委員  
真栄平建正 委員  
吉永 将志 委員  
保久村 登 委員



# 視察行程表

日程	月日(曜日)	時間	行程
1日目	10月29日(火)	8:00 8:45 9:20 10:10 12:25 15:35 17:00 17:30 18:00	久米島空港集合(搭乗手続き) 久米島発RAC872便にて那覇へ 那覇着 那覇発JAL902便にて東京(羽田)へ 東京(羽田)着(羽田空港内にて昼食) 東京(羽田)発ANA385便にて鳥取(米子)へ 鳥取(米子)着 米子空港から宿泊先(境港市)へ 宿泊先(境港市)到着
2日目	10月30日(水)	8:00 8:30 9:30 12:40 14:00 17:30	宿泊先(境港市)発 島根県七類港到着 島根県七類港発(フェリーにて海士町へ) 海士町菱浦港着 行政視察(島内) 行政視察終了 宿泊先到着
3日目	10月31日(木)	8:30 9:00 12:00 13:00 17:00 17:30	宿泊先発 海士町役場到着 行政視察①テーマ:移住・定住について 行政視察終了後昼食 行政視察②テーマ:高校魅力化について 行政視察終了 宿泊先到着
4日目	11月1日(金)	7:00 7:30 8:00 8:45 13:35 14:15 14:50 17:00 18:05 18:40	宿泊先発 西ノ島別府港着 レインボージェットにて隠岐の島西郷港へ 隠岐の島西郷港到着 隠岐空港へ移動 隠岐空港発JAL便にて大阪(伊丹空港)へ 大阪(伊丹空港)到着 大阪(伊丹空港)発JAL便にて那覇へ 那覇到着 那覇発RAC883便にて久米島へ 久米島着(解散)～お疲れ様でした～

# 赤嶺 秀徳 総務・文教・民生委員会 委員長

## 視察先で感じたこと・意見・課題など

### ○視察先で感じたこと

#### 1. 人口減少について

5年前の国勢調査から現在まで増減が横ばい状態であり、次の国勢調査では5年前よりも増える見込みであるとの海士町長の発言があった。官(執行部・議会)民一体となって努力した結果である。海士町でも移住定住に向けては住宅不足が最重要課題とのことであり民間企業等が参入出来ないか模索中とのことである。人口減少の問題は役場・議会だけの問題ではなく町民一人一人の問題でもあると感じた。



役場職員による説明（海士町役場）

## 2 教育改革(高校魅力化)について

海士町の島前高校への離島留学については、現在では一般財団法人島前ふるさと魅力化財団に委託して実施している。役場はほとんどタッチしていない状況。財団による経営方針がぶれない学校経営により学校経営会議を開催して情報共有を行い、失敗を共に称えあう学校をスローガンに生徒の自主性を引き出し、高校生を子供扱いしない伴走体制、非常勤で地域人材を活用する「島まるごと学校・地域の大人は先生」など高校魅力化は比較的的良好である。小・中学校の対策については今後本格的に実施する予定であり、ここでも町民一人一人が積極的に学校の存続を真剣に考えながら努力していると感じた。海士町長は小学校の統廃合については否定的で地域の小学校を廃校にすることは地域の衰退を意味する。複式学級でもメリット・デメリットがある。海士小学校の校長先生からは複式学級で教員の負担が大きいとは言えないとの意見であり統廃合についてより慎重に考えるべきことと思った。



隠岐島前高校離島留学生との意見交換

## ○ 本町に反映できること

### ・ 移住定住について

移住定住での住居の確保が課題であり、住居の確保に向け民間企業等への協力などの施策の展開も必要である。建築費等の高騰により町による住宅建設は不可能に近いことを考慮し発想の転換をなし人口減少をある程度止めることも秘策では

### ・ 高校魅力化について

本町においても法人化は可能と思われる。

## ○ その他（意見・課題など）

久米島高校のより一層の魅力化を図り、小・中学生の時から島の高校でしか学ぶことはできない、他の高校にはないもの(科)を作ることなどの秘策が必要と思う。離島留学制度を法人化に移行することも必要ではないか。努力が足りない気がする。

新垣 幸子 総務・文教・民生委員会 副委員長

## 視察先で感じたこと・意見・課題など

### ○視察先で感じたこと

海士町には離島に若者の還流を促す暮らしや働きができる「大人の島留学」制度があり、「一般財団法人島前ふるさと魅力化財団」が運営を行っています。参加者は、令和2年21名、3年54名、4年110名、5年135名で、1年コースと3か月コースがあり終了後は島を出ていく方、残る方がいます。行政が仕事や暮らしをサポートし、事業者が受け入れ体制に力を入れていて、地域が一体となっているところが魅力的であり島内外の人を大事にしていることがよく分かりました。

また、学習センターでは、教科学習、将来についての夢ゼミ、地域との協働などの学びがあり内容もとても充実しています。他にも要因はありますが人が増えていく原動力となることに感銘を受けました。

## ○本町に反映できること

繁忙期がそれぞれ異なる仕事を組み合わせたスタイルの複業協同組合は労働者派遣事業の組合です。国・市町村からの補助もあり、久米島においても例えば夏場は観光、冬場はキビ刈り作業等、他の組み合わせも出来る可能性があります。それから高校魅力化や教育改革については、学校と地域、行政を繋ぐ経験のある専門の高校コーディネーターの配置が必要不可欠です。

これらを総合的に取り組んでいる「一般財団法人島前ふるさと魅力化財団」の立ち上げについても参考になるので強く要望したいと思います。



## ○その他（意見・課題など）

海士町の人口減少対策や教育改革についてさまざまな事業を展開している背景には、大江町長が職員に対して家族同様にコミュニケーションをとり信頼し職務を任せていることから出来ると強く感じました。同時に「やる気、感謝、コミュニケーションに尽きる」という言葉が強烈に印象に残っています。

本町の課題である高校魅力化事業や考える会、教育改革、人口減少対策について出来ることから行動していきたいと思いました。



# 富永 肇 総務・文教・民生委員会 委員

## 視察先で感じたこと・意見・課題など

### ○視察先で感じたこと

海士町の人口は本町の半分以下だが活気を感じた。町長を始め、町職員が、若い人が、働きやすい環境と住み心地の良い状況に取り組んでおり、人口減少もさほど進んではいない。島外移住者への対応がしっかりしている。



島前高校学生寮 左：外観 右：室内

## ○ 本町に反映できること

- 海士町島前高校の離島留学制度は全て島内で完結している。（外部委託なし）法人化により雇用が生まれる。本町の離島留学制度のコンサルティング料や委託料を見直せるのでは。

## ○ その他（意見・課題など）

海士町、大江町長との意見交換の中で、町長の熱量に圧倒されました。次の世代に向けた取り組み、海士町をどのようにしたいかの強い意志を感じた。今後の人材不足において、半官半Xは本町も今後の視野に考えることも大事である。



海士町役場応接室にて

# 真栄平 建正 総務・文教・民生委員会 委員

## 視察先で感じたこと・意見・課題など

### ○視察先で感じたこと

- 1-1 半官半X、半X半官を推進し、それぞれを理解することによって、新たな知見、協働を図る取組がされている。
- 1-2 町営住宅258戸、空き家29戸を町が確保し住居を供給。
- 1-3 一般財団法人こゆ地域づくり推進機構、(株)ふるさと海士ホテルEnto、AMAホールディングス(株)の3つの第3セクターの設立により地域産業の振興。
- 1-4 一般社団法人海士町未来投資委員会によるふるさと納税寄付額の25%を活用し事業者への投資、育成。

- 2-1 隠岐島前教育魅力化構想推進の組織体制が充実と構想の継承と進化を図っている。
- 2-2 令和6年度より隠岐島前教育魅力化構想小中を含めた取り組みがされている。
- 2-3 高校生の7割近くが隠岐地域外の入学者(R4年度)
- 2-4 地域創造コース、特別進学コースを設置、それぞれの学生のニーズに対応した学習環境を提供している。
- 2-5 小学校が2校在る。複式となる年があるが、小学校は地域の核となっており統廃合はせず、如何に生徒数増を図り複式にしないかを優先している。

## ○ 本町に反映できること

- ・ 上記全てが実施可能、その思考が必要。

## ○ その他（意見・課題など）

- ・ まずは町長が明確な政策を持ち、町長のリーダーシップのもと、行政全体が一致し、地域と協働して推進することが重要。

吉永 将志 総務・文教・民生委員会 委員

## 視察先で感じたこと・意見・課題など

### ○視察先で感じたこと

久米島に足りないものを多く感じました。その中でも特に、島をどうにかしたいという想いと決断力、そしてリーダーシップを持った町長。の存在です。海士町は久米島町よりも人口が少なく地理的にも不便なのにも関わらず、人口が減っていません。

海士町町長からも「若い職員には町の為に暴れてもらっている。私はそれを後押しするだけ。これまで様々なことに挑戦する際に職員・議員からの批判も多かった。その際には今後の町の為に説明し行動してきた。」とありました。若い職員が生き生きと働いている姿に感動しました。

## ○本町に反映できること

- ① 「子どもを真ん中に考える」という考え方。
- ② 「半官半x」の働き方。※役場職員が庁舎内で公務員としての仕事（官）だけではなく現場に足を運び、町民と共に様々な仕事（x）をし、現場の課題と一緒に解決する力を身に付けていくことを目的とした働き方。
- ③ 公共事業の適正化。  
※同時に必要な事業への参入を促す。海士町は建設業が直産業の分野へ参入した。
- ④ 経営会議の設置と定例化。
- ⑤ 未来共創基金（ふるさと納税の25%を島の未来へ投資）  
※例：船の整備士育成・なまこ・乳牛など。500万以上規模の仕事への投資事業。
- ⑥ 大人の離島留学や島体験事業。（3ヶ月から1年間、島に住んでもらう事業）

## ○その他（意見・課題など）

今後の課題として、久米島町全体で危機感を持つことが必要だと考えます。少子高齢化が加速していく中、このままではなんくるならない時代が訪れます。その時に後悔しないよう海士町のように出来ることを具体的かつ積極的に取り組んでいかなければなりません。久米島は出遅れている。その認識を持つことが必要です。



## 保久村 登 総務・文教・民生委員会 委員

### 視察先で感じたこと・意見・課題など

#### ○視察先で感じたこと

- ① 人口減少対策として、合併はメリット無いとして選択せず、小学校の統廃合は地域の衰退につながるとして採用しなかった（町長）。複式学級が生じることもあるが、町からの支援員の派遣もあり、教育上支障はない（海士小学校校長）。
- ② 一般財団法人島前ふるさと魅力化財団を設立し、隠岐島前地域の「魅力的で持続可能な教育と地域をつくる」ための取り組みをしている（「はじまりの書」）。
- ③ 島前3町村の教育関係者・地域関係者が集い、教育の魅力化について協議している。昨年度は、3教委の課長と魅力化スタッフによるワーキンググループを設け、教育環境の衰退は地域の衰退につながることを改めて確認し、ICTも活用した3町村が連携した授業、教員の地域採用、教員のより良い教育環境づくりなどが提案され、コーディネーターを派遣し、3町村や小中高連携を一層促進し、「チーム島前」として島前地域ならではの学びが更に充実することを目指している。

- ④ 小中学校生と島前高校生との交流は年20～30回実施している。
- ⑤ 島前ではICTを活用する文化が根付いている。学習センターでは、タブレット端末で学習し、オンラインで質問できる。内航船の欠航で登校できない時でも遠隔授業ができる。また、各学校単位で担当者が主体的に活動しており、ICT活用が教員の働き方改革の一助となっている。
- ⑥ 学習センターでは、島内外の大人と高校生が共に学ぶ場面が日常的となった（大人も参加できる「じぶん色ゼミ」、隠岐サーキュラーデザインゼミと共催した「夢ゼミ」）。
- ⑦ CAS (Cells Alive System) を活用した白いか、岩がきの保存、販売システムの導入
- ⑧ 「半官半X」による町職員の働き方改革の取組み
- ⑨ 「大人の島留学」 3か月コース（基本的に帰る。就職先見つければ定住）。1年コース（地域起こし協力隊）  
ヒットが出ればラッキーと考える。

⑩ 「移住定住促進」→「滞在人口創出」→「関係人口創出拡大」（経営者、海士町アンバサダー制度）（認知拡大、来島促進、ファン創出）

⑪ 諸施策の実践により、人口減少に歯止めがかかった。

○ 本町に反映できること

上記①から⑩まで

○ その他（意見・課題など）

追って検討したい。